

ひふみのあゆみ

ひふみ投信 追加型投信/内外/株式

2021年8月度 月次ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。

ひふみ
INW

ひふみ投信



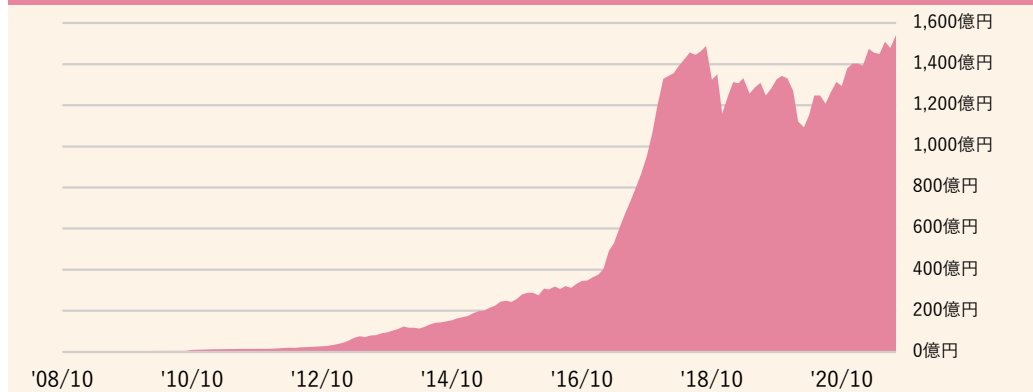
作成基準日：2021年8月31日

運用実績

基準価額の推移（日次）



純資産総額の推移（月次）



運用成績

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ひふみ投信	3.63%	4.50%	6.21%	19.16%	24.27%	535.58%
TOPIX	3.17%	2.12%	6.33%	23.79%	21.24%	136.29%

ひふみ投信の運用状況

基準価額	63,558円
純資産総額	1,541.15億円
受益権総口数	24,248,066,726口

ひふみ投信 投資信託財産の構成

ひふみ投信 マザーファンド	100.20%
現金等	-0.20%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第12期	2020年9月	0円
第11期	2019年9月	0円
第10期	2018年10月	0円
第9期	2017年10月	0円
第8期	2016年9月	0円
第7期	2015年9月	0円
設定来合計		0円

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみ投信」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※ひふみ投信の当初設定日の前営業日（2008年9月30日）を10,000円として指数化し、基準価額とTOPIXのグラフや設定来の運用成績の表を作成しています。

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社東京証券取引所が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、東証市場第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とします。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

※ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

資産配分比率などの状況

ひふみ投信マザーファンドの状況	
純資産総額	7,336.45億円
組み入れ銘柄数	281銘柄

市場別比率	
東証一部	75.95%
東証二部	1.49%
マザーズ	3.24%
JASDAQ	1.32%
その他海外株	9.75%
現金等	8.25%
合計	100.00%

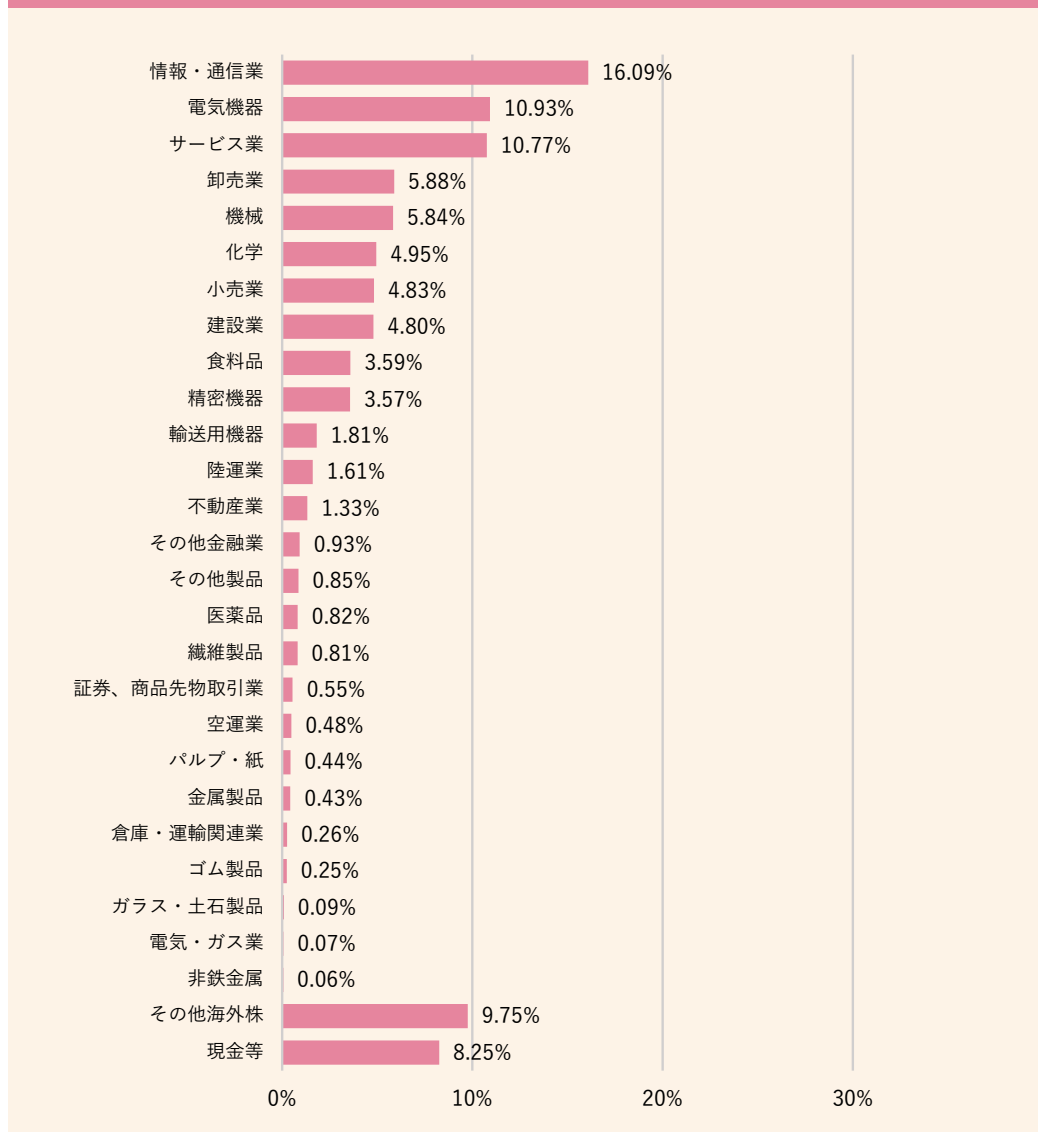
資産配分比率	
国内株式	82.00%
海外株式	8.66%
海外投資証券	1.09%
現金等	8.25%
合計	100.00%

※「資産配分比率」「市場別比率」「業種別比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

業種別比率



※業種別比率について：東証33業種分類を用いて表示しています。非保有の業種は表示されません。

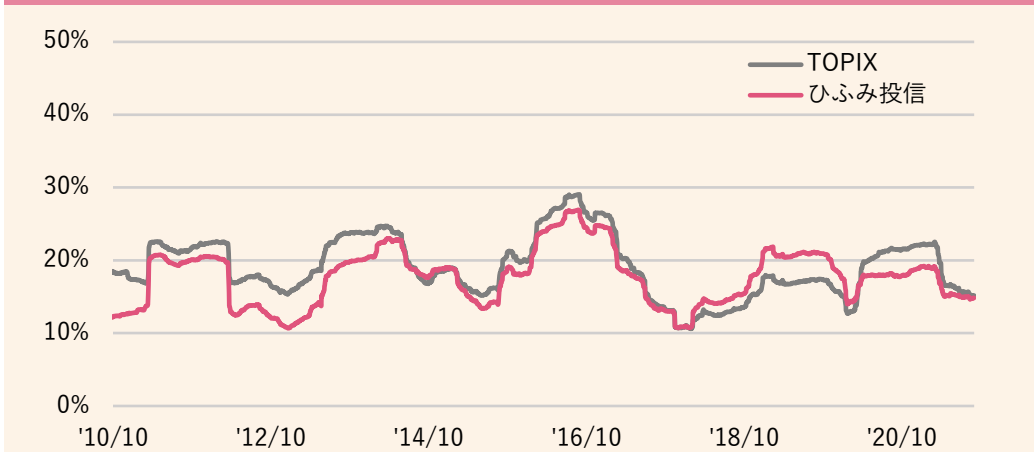
また海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。



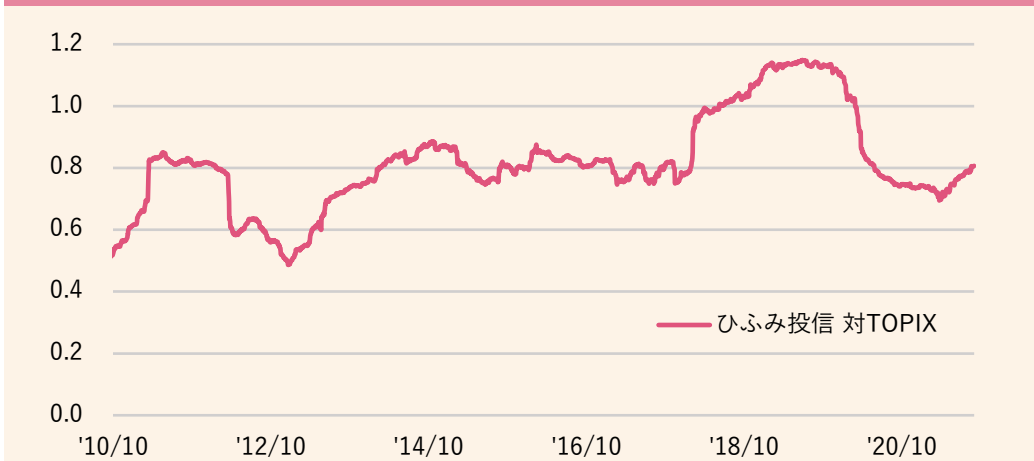
ひふみ投信と市場の比較

時価総額別比率		アクティブシェア
大型株（3,000億円以上）	46.17%	84.87%
中小型株（300億円以上、3,000億円未満）	41.78%	
超小型株（300億円未満）	3.80%	
現金等	8.25%	
合計	100.00%	

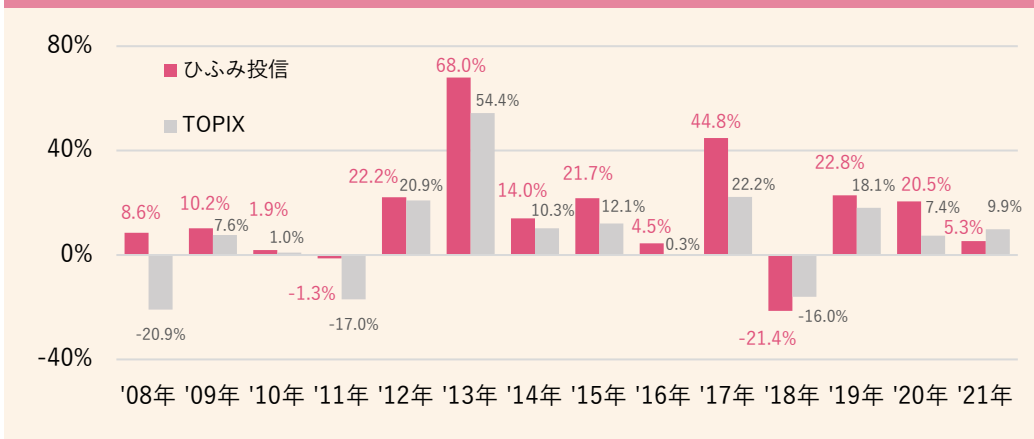
値動きの大きさの推移（250営業日リスク推移）



株式市場への値動きの連動性（250営業日ベータ推移）



各年の収益率



※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を基に作成しております。

※アクティブシェアについて：基準日時点のTOPIXと比較

解説：アクティブシェアとは

ポートフォリオがベンチマークとどれだけ異なっているかを示します。アクティブシェアは0%～100%の間の数値で100%に近いほど、ベンチマークと異なるポートフォリオであることを示します。TOPIX（配当込み）はひふみ投信マザーファンドのベンチマークではございませんが、参考として算出しています。

※値動きの大きさの推移について：設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク（日次リターンの標準偏差の年率換算値）の推移を表示したものの。

解説：リスクの推移の意味

ひふみ投信とTOPIXのリスク量を比較して分かる事は、簡単に言えば「どのくらいアクセルを踏んでいるか」ということです。アクティブ運用の投資信託は市場環境等に応じて中身（ポートフォリオ）を変化させます。より値動きが大きくなっても上昇機会を得られるとして中身を変化させると、リスクの値は高くなるでしょう。ひふみ投信は概ねTOPIXよりも低いリスクを維持しており、安定的な値動きの運用を目指していることが分かります。

※株式市場への値動きの連動性について：設定来の日次リターンを基に過去250営業日の対TOPIXとひふみ投信のベータ値の推移を表したものの。

解説：ベータの推移の意味

上記のグラフにおけるベータは、TOPIXに対してひふみ投信がどのくらい連動するかを表します。仮に0.8のとき、TOPIXが1上がると、ひふみ投信は0.8程度の上昇が見込まれます。逆にTOPIXが1下がると、ひふみ投信は0.8程度の下落に留まると見込まれます。

※各年の収益率について：暦年ベース、2008年は9月末から年末まで、当年は作成基準日（レポート1ページ目右上をご覧ください）まで。

※各年の収益率は、小数点第二位を四捨五入して表示しています。

※過去の実績は将来の収益を保証するものではありません。

ひふみの主な受賞歴



受賞年	受賞詳細
2021年	R&I ファンド大賞 2021 投資信託10年/国内株式コア部門 優秀ファンド賞
2021年	投信ブロガーが選ぶ！Fund of the Year 2020 第5位
2020年	R&I ファンド大賞 2020 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2019年	R&I ファンド大賞 2019 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2018年	R&I ファンド大賞 2018 NISA/国内株式部門 優秀ファンド賞
2018年	投信ブロガーが選ぶ！Fund of the Year 2017 第6位

※R&Iファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

R&Iファンド大賞2021の「投資信託10年部門」では、2016、2021年それぞれの3月末における5年間および2021年3月末時点における3年間のシャープ・レシオがいずれも上位75%のファンドを対象に、2021年3月末における10年間のシャープ・レシオによるランキングに基づいて表彰しています。表彰対象は償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託10年部門」ではカテゴリ内で上位50%以上かつ残高が30億円以上の条件を満たすファンドです。また、「投資信託10年部門」は確定拠出年金専用ファンド、SMA・ラップ口座専用ファンドを除く国内公募追加型株式投信を対象にしており、基本的にR&Iによる分類をベースとしています。

各受賞年の評価基準年月日等は次のとおりです。

- ・2020年：2015、2020年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2020年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2020年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。

- ・2019年：2014、2019年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2019年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2019年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。

- ・2018年：「NISAスクリーニング」の2018年版（2月8日に公表）の基準を満たしたファンドに関して、2018年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。

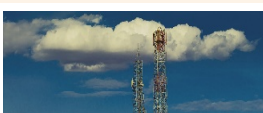
※投信ブロガーが選ぶ！FundoftheYear2017について

投信ブロガーが選ぶ！FundoftheYear2017は、投信ブロガーの投票を運営委員会が集計したランキングです。2017年10月31日までに設定された投資信託（ETF含む）が対象で、海外ETFについては、日本の証券会社を通じて買付可能なものを対象としています。

※投信ブロガーが選ぶ！FundoftheYear2020について

投信ブロガーが選ぶ！FundoftheYear2020は、投信ブロガーの投票を運営委員会が集計したランキングです。2020年10月31日までに設定された投資信託（ETF含む）が対象で、海外ETFについては、日本の証券会社を通じて買付可能なものを対象としています。

銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
	企業ロゴ等	銘柄紹介				
1	SHIFT 	3697	大型	東証一部	情報・通信業	1.69%
2	HOYA 	7741	大型	東証一部	精密機器	1.53%
3	MICROSOFT CORPORATION 	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.50%
4	インターネットイニシアティブ 	3774	大型	東証一部	情報・通信業	1.36%
5	ミライト・ホールディングス 	1417	中小型	東証一部	建設業	1.33%
6	Zホールディングス 	4689	大型	東証一部	情報・通信業	1.26%
7	三菱商事 	8058	大型	東証一部	卸売業	1.20%
8	エイチ・アイ・エス 	9603	中小型	東証一部	サービス業	1.12%
9	ショーボンドホールディングス 	1414	中小型	東証一部	建設業	1.11%
10	AMERICAN TOWER CORP (海外投資証券) 	AMT	大型	NYSE	その他海外株	1.09%

※規模は作成基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型（3,000億円以上）、中小型（300億円以上、3,000億円未満）、超小型（300億円未満）

※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

銘柄紹介（2021年5月31日時点）

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.61%
2	エイチ・アイ・エス	9603	中小型	東証一部	サービス業	1.42%
3	S H I F T	3697	中小型	東証一部	情報・通信業	1.35%
4	H O Y A	7741	大型	東証一部	精密機器	1.33%
5	ミライト・ホールディングス	1417	中小型	東証一部	建設業	1.30%
6	ショーボンドホールディングス	1414	中小型	東証一部	建設業	1.24%
7	あい ホールディングス	3076	中小型	東証一部	卸売業	1.19%
8	川崎重工業	7012	大型	東証一部	輸送用機器	1.19%
9	東京応化工業	4186	大型	東証一部	化学	1.13%
10	光通信	9435	大型	東証一部	情報・通信業	1.11%
11	アマノ	6436	中小型	東証一部	機械	1.11%
12	プレミアムウォーターホールディングス	2588	中小型	東証二部	食料品	1.09%
13	Zホールディングス	4689	大型	東証一部	情報・通信業	1.09%
14	日本電産	6594	大型	東証一部	電気機器	1.09%
15	I H I	7013	大型	東証一部	機械	1.09%
16	三菱商事	8058	大型	東証一部	卸売業	1.05%
17	協和エクシオ	1951	大型	東証一部	建設業	1.03%
18	花王	4452	大型	東証一部	化学	1.03%
19	AMERICAN TOWER CORP (海外投資証券)	AMT	大型	NYSE	その他海外株	1.03%
20	S M C	6273	大型	東証一部	機械	1.02%
21	G M O ペイメントゲートウェイ	3769	大型	東証一部	情報・通信業	1.01%
22	インターネットイニシアティブ	3774	中小型	東証一部	情報・通信業	0.96%
23	ソニーグループ	6758	大型	東証一部	電気機器	0.95%
24	三浦工業	6005	大型	東証一部	機械	0.92%
25	兼松	8020	中小型	東証一部	卸売業	0.91%
26	セリア	2782	大型	JASDAQ	小売業	0.91%
27	東京センチュリー	8439	大型	東証一部	その他金融業	0.89%
28	ジャフコ グループ	8595	中小型	東証一部	証券、商品先物取引業	0.88%
29	ACCENTURE PLC	ACN	大型	NYSE	その他海外株	0.87%
30	BILIBILI INC.	BILI	大型	NASDAQ	その他海外株	0.87%

※規模は以下の区分に基づき作成しています。

大型（3,000億円以上）、中小型（300億円以上、3,000億円未満）、超小型（300億円未満）

※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

8月の株式市場は、新型コロナウイルス感染の再拡大や世界的なマクロ指標の悪化による景気のピークアウト懸念などから弱含む場面も見られましたが、月後半は米国の緩和政策の継続期待やワクチン供給の進展期待などを手掛かりに強い動きとなり、月末の日経平均株価は前月比3.0%高の28,089.54円に反発しました。

8月の日経平均株価は底堅い展開で始まりました。7月は中国政府によるネット企業らへの規制強化など、中国リスクが株安要因となる場面が見られましたが、8月末に開催された中国共産党の中央政治局会議で積極的な財政政策が決定され、年内に政策支援策を強化する方針を示されたことで市場に安心感が広がりました。

一方、米国ではISM製造業景況感指数が予想を下回って1月以来の60pts割れとなり、景気のピークアウト警戒が高まりました。また、NY市が新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて屋内飲食などにワクチン接種証明書の提示義務付けを決定するなどコロナ懸念も高まりましたが、米国株は一向に崩れることなくジリ高歩調を辿り、過去最高値を更新しました。FRB（連邦準備制度理事会）メンバーは前月まで「現在のインフレは一時的」と繰り返すなどハト派スタンスを貫いていましたが、8月に入ってから金利低下牽制やインフレ上昇への警戒発言をするなど明かにタカ派な姿勢にシフトしたため、金利はやや上昇基調を辿りました。そうした中で発表された雇用統計は非農業部門雇用者数が予想を上振れるなど強い結果となり、複数の連銀総裁からはテーパリングの早期開始を支持する可能性との発言も聞かれました。しかしテーパリング懸念が高まっても今度は景気の回復期待に目が向き米国株は堅調な地合いを維持されることとなりました。

一方、日本株を含めアジア株は月半ばから売り優勢となりました。コロナ感染再拡大による経済活動制限や根強い中国規制懸念に加え、中国のマクロ指標悪化が素直に嫌気された面もあったようです。日本市場では特にマザーズの下落が厳しく、18日には1年ぶりに大台の1,000ptsを割り込む場面が見られ、日経平均株価も20日に26,954.81円と年初来安値を更新しましたが、その後は反発の動きに転じました。そのころ米国ではコロナ感染の再拡大を受け、FRBメンバーからテーパリングの早期開始に対する慎重論が出始めました。またFDA（米食品医薬品局）がファイザーのコロナワクチンを正式認証したことでブースター接種や接種義務化への期待が高まったほか、モデルナもFDAへの届出を完了し、ジョンソンエンドジョンソンはブースター接種によって抗体の急速な増加を実現と発表するなどワクチン期待が高まりました。アフガニスタンでテロが発生するなど、悪材料も多かった月ではありますが、27日に行なわれた年に一度の米国の金融・経済シンポジウム（ジャクソンホール会議）にて、FRB議長がハト派姿勢を強調したことも市場の下支え役を果たし、月後半の日本株は堅調推移を辿り、日経平均株価は終値ベースでは月中の高値で月末を迎えました。



トレーディング部長
岡田 雄大

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

8月は閑散期で相場が動かない傾向がありますが、今年は国内ではコロナ禍の加速、海外では米国の金融引き締め懸念、中国の規制強化の話題も飛び出したため、比較的相場が動きました。この中でも一番懸念されたのが北米の金融引き締めでしたが、これは月末のジャクソンホール会議を経て安心感が広がり、東証株価指数（TOPIX、配当込み）は上昇に転じて3.17%の上昇、ひふみ投信は3.63%の上昇となりました。

現状私たちが取り組んでいることは、国内外の高まったリスク要因の影響を受ける銘柄を売却し、Withコロナの世界を見据えたポートフォリオへ徐々に移行させることです。その結果、一時的に現金比率が8%以上に増加しています。売却したセクターは、中国のゲーム規制の影響を受けるゲーム関連銘柄などがあげられます。

今後の運用方針ですが、現在はコストプッシュ・インフレが意識されています。例えば、半導体不足の長期化、鋼材価格の上昇などです。この価格上昇が綺麗に川下まで進んでいくのであれば景気は腰折れしないと思われますが、常識的に考えると全産業でコストアップを許容できる世界にはなり得ないと考えています。

実行力のある会社を選好し、次の相場に備えていく方針を持ちながら、引き続き全力で投資運用を行なってまいります。今後ともひふみ投信をよろしくお願いいたします。



代表取締役 会長兼社長
最高投資責任者
藤野 英人

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。



「コロナとの共存」の優劣で各国株式市場に格差 デルタ株感染増で中銀ハト派化、グロース株優位化

新型コロナのワクチン接種が進む中で、世界経済は大勢的に回復基調を辿ってきました。一方で、新型コロナの変異ウイルス「デルタ株」の感染者急増から回復モメンタムの鈍化がリスク要因に浮上しています。「コロナと経済の共存」政策の優劣によって国・地域別の経済成長率や株価パフォーマンスの格差が生じやすくなっています。

米国経済は、バイデン政権によるワクチン接種の推進や1.9兆ドルの大規模経済対策（3月成立）の実施などを通じて春～夏場にかけて上ブレ・加速化の様相となりましたが、今後、拡大モメンタムが鈍化すると予想されます。金融政策面では8月27日のジャクソンホール会合でパウエルFRB（連邦準備制度理事会）議長が、物価の急上昇に対して一過性の可能性が高いことを力説しました。今後のテーパリング（量的緩和策の段階的縮小）に関しては雇用改善が想定通り進展ならば年内実施（11月か12月のFOMC（連邦公開市場委員会）で決定）を示唆する一方、デルタ株感染拡大がリスクとの認識を示しました。利上げに関してはテーパリング議論と分離し、すぐに行なわないとの見方をにじませました。これまで地区連銀総裁から早期のテーパリングなどタカ派的発言が目立ちましたが、今後はハト派化の動きが注目されます。

バイデン政権は財政面で総額約4兆ドルの大規模な復興計画を掲げていますが、2面路線で成立を図ろうとしています。1つは与野党の合意が得やすいインフラ投資分野を対象とする超党派のインフラ包括法案（5年で0.55兆ドル）で9月中に成立する可能性があります。もう1つは民主党が単独で成立を目指す10年間で総支出3.5兆ドルの予算決議案ですが、歳出規模の縮小によって妥協が図られそうです。今後、財政刺激効果は縮小が予想されます。

中国では習近平政権が巨大IT企業（プラットフォーム）や教育、ゲーム業界などへの規制強化を打ち出しています（関連中国株が大幅下落）。これらは2022年秋の共産党大会を控えて政権基盤強化のために、社会的な不平等を是正する政策の一環と推察されます。改革開放以降の社会主義市場経済と「先富論」を柱とする鄧小平路線は、習近平政権の下で社会主義本来の「共同富裕（格差是正や平等社会重視）」へ路線修正に動いています。これが中間所得層の拡大につながり中国経済に中長期でポジティブなのか、ITなど新興産業における民間企業の勃興・躍進を原動力とする成長モデルに暗雲となるのか、要注目です。

日本ではワクチン接種率（1回以上接種）が夏場に急上昇し、60%を突破した米国に急接近しています。コロナ対策の成否は秋の自民党総裁選挙や衆議院選挙に大きな影響を与えそうですが、新規感染者数や死亡者数は両選挙に向けて低下・改善が予想されます。加えて、求心力が低下した菅首相の退任は与党挽回に作用し、自公政権が維持されそうです。

世界の株式投資マネーはワクチン接種率が高く「コロナとの共存」を進める国・地域を選好する傾向が強くなっています。過去半年近く、米欧株が優位化、中国や日本株が劣位化しました。特に有効性の高いワクチン普及や治療薬の開発力、金融・財政面での政策余力などで優る米国株が人気を集めています。出遅れていた日本株は、自公政権維持思惑（政治不安後退）や集団免疫獲得とコロナとの共存政策期待などから上昇余地が広がりそうです。デルタ株感染の増加は各国景気に重石になりますが、中銀のハト派化と金利低下を招きやすくなり、物色面では情報技術（IT）などグロース株の優位化が予想されます。

（9月3日）



レオスが特別協賛をつとめる将棋の八大タイトルのひとつ「第6期叡王（えいおう）戦」の五番勝負。

ひふみラボnoteではレオス将棋部が熱戦の舞台裏のレポートを公開中です！

9月13日はいよいよ最終局です。

レポートを読んで、一緒に応援しましょう！

▶[レポートはこちらから](#)

ひふみの運用「中の人」座談会！ひふみトーク（申込不要）

9月22日(水) 20:00～21:00@YouTube



日々世界中の企業を調査し、ひふみを運用している運用メンバーが集い、日頃なかなか見ることができない運用の現場での裏話や企業調査時の忘れられないエピソードなどを座談会形式でお送りします！

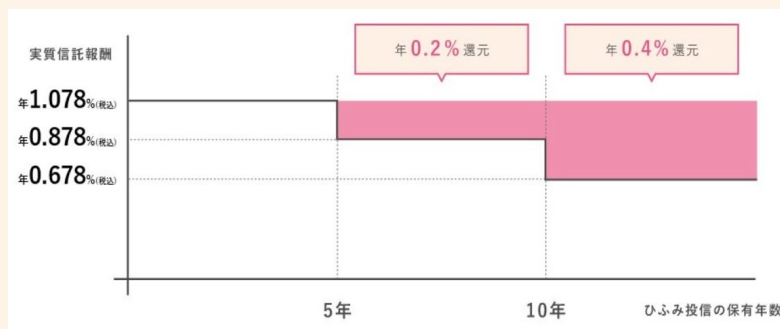
当日運用メンバーに聞いてみたいことがありましたら下記リンクよりお寄せください。

※多くのご質問をいただいておりますので、セミナー中にすべてのご質問にお答えできないこともあります。ご了承ください。

[詳細・ご質問はこちらから](#)

資産形成応援団

資産形成応援団とは、直販で5年以上保有いただいているひふみ投信について、信託報酬の一部を当社がお客様に還元することにより、信託報酬を実質的に割り引く、という日本で初めて導入された仕組みです。



5年以上、または10年以上継続して保有されている受益権口数に対して応援金を還元いたします（受益権とはひふみ投信をご購入いただいたお客様が、ひふみ投信の利益を受けることができる権利のことです。）。

応援金還元率は受益権口数に係る資産残高の年率0.2%（5年以上分）、0.4%（10年以上分）です。応援金は、新たにひふみ投信を買付ける資金に充当いたします（原則として、現金のまま、お渡しすることはありません。）。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行いません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

昔やっていた習い事はなんですか？ やって良かったことなど、エピソードもあれば教えてください。
また、これからやってみたいことがありましたら教えてください。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

将棋、剣道、ピアノ、そろばん、フルート、社交ダンス、テニスなどの教室に行っていました。そのうちのいくつかは今も続いています。子供の時からのも大人の時からのもありますが、国語と英語と算数（数学）は共通科目であとはたくさん選択できたのもっと楽しいのにとよく思います。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
未来戦略部長

水泳です。年中泳いでいて楽しかったです。泳ぎ始める前に立ち泳ぎを延々とやっていたのを覚えています。30分くらいずっとやっていました。水に、海に落ちて生き残る確率を高められるように教えてくれたのでしょうか、本当に良い先生だったなあ〜と思います。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマ
ネージャー

水泳はやっていて良かったと思います。もっと真面目にやればよかったと後悔しているのは習字です。披露宴などの際に毎度恥ずかしい思いをしています。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマ
ネージャー

習い事はかなりやっていました。塾は当然として、その他ではテニス、野球、ソフトボール、水泳、算盤（これは速攻辞めた）や公文に書道や英会話、果てはエレクトーン、フィギュアスケートまで。この中ではエレクトーンを一番真面目にやっていたまして、小学低学年から高校3年まで続けあと一息で講師の資格というところまで行きました。最後は大学受験との兼ね合いや資格試験のための作曲に時間を取れなくなり断念し、そのまま辞めてしまいました。今でもエレクトーンを辞めた事は後悔していて、今度はピアノで音楽を再開すべく機会を伺っています。一方でテニスは今でも続けています。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマ
ネージャー

小学生のころはかなり多忙で少林寺拳法、ボーイスカウト、学習塾に通っていました。そのどれもが思い出になっていますが、一番多くのことを習ったと思うのは、父親の仕事場に行って仕事をする姿を見たことと、母親から家事を習ったことです。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマ
ネージャー

書道と絵画を何年間かやっていましたが、どれも中途半端でした。習い事ではないですが、幼少期に体がとても弱かった私が、小学校に入ってから、母のアドバイスで夏休みに毎日1-2時間運動することにより、病気にあまりかからなくなったことは、当時の自分にとって奇跡のように思いましたし、人生への影響も大きかったです。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマ
ネージャー

ピアノと公文式に通っていました。ピアノは3年生か4年生のある日休んでしまったことをきっかけにその後全く行かなくなってしまい、今でもあれを後悔しています。公文は1年生か2年生くらいのときに小学校課程を全部終えた時点で通うのをやめました。公文はいろいろな意見があるようですが僕は肯定派です。

運用メンバーからのメッセージ



Ono Shotaro
小野 頌太郎
シニア・アナリスト

お絵描き教室に2年ほど通ってました。残念ながら絵心はつきませんでした。パレットを洗わずよく怒られていたような気がします。描く方は諦めましたが、最近はようやく絵画鑑賞が楽しめるようになってきました。



Katata Yuta
堅田 雄太
シニア・アナリスト

小学生の頃にピアノと硬筆を習っていました。習い事に行って帰って来ればお小遣いを貰えたので、そのためだけに行っていた記憶があります。硬筆は真面目にやっておけば良かったなと後悔してます。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

習い事としては、学習塾とそろばん、あとは水泳です。学習塾は勉強より友達に会うために行っていた感じです。そろばんは正座をしてやっていたので、脚が太く短くなった遠因ではないかと思春期の時は悩んだものですが、一方で水泳のおかげで多少身体は強くなったかなとは思いますが、これまでの人生の中に音楽というパーツが欠けているので、今後は何か楽器の一つでも習ってみたいものです。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト

習い事は特にありません。
これから極めたいことはウクレレです。Work from anywhere、ウクレレを弾きながら海辺で働くことを目指します。



Tada Kensuke
多田 憲介
アナリスト

幼少期からサッカーをやっていました。
あまり記憶はないですが、ピアノや柔道、野球などいろいろな習い事をやりたがったようです。大学でサッカーを引退してからは、毎年趣味を増やしています。これからの趣味のテーマは「広く浅く」です。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

小学生の頃、絵と習字を習っていましたが、それ以外は塾などに通ったことはありませんでした。音楽やスポーツなどを習って、趣味を広げることができればいいなと思います。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

保育園の頃から郷土芸能の太鼓をやっていました。全国のコンクールや海外公演などに出ていました。人前で何かする度胸が多少身についたと思います。

ひふみ投信の特色

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみらいとの特色（ご参考）

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- ・ 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- ・ 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられ、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク （エマージング市場 に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：（ひふみ投信）三井住友信託銀行株式会社
（ひふみワールド）三菱UFJ信託銀行株式会社
（ひふみらいと）三井住友信託銀行株式会社
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
受付時間：（2020年4月6日より）営業日の10時～16時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

お申込メモ

	ひふみ投信	ひふみワールド（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
商品分類	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／資産複合
当初設定日	2008年10月1日	2019年10月8日	2021年3月30日
信託期間	無期限		
決算日	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	解約の請求受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
換金代金	解約の請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。		解約の請求受付日から起算して6営業日目から支払われます。
購入・換金 申込受付 不可日	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、お申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみ投信	ひふみワールド（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.078% (税込) を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.628% (税込) を乗じて得た額	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して 年率0.55% (税込) を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率0.0022% (税込) 実質的な負担※：純資産総額に対して 年率0.5522% (税込) 程度
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税込)を乗じて得た額。(上限年間88万円(税込)。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。)	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税込)を乗じて得た額。(上限年間99万円(税込)。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。)	日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
その他費用・手数料	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。